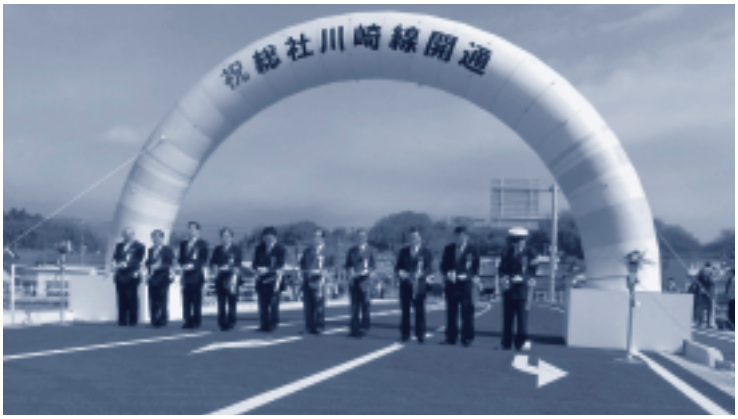
建設水道委員会

市の土木部及び水道局の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎岡田康弘　○竹内靖人　岡安謙典　倉持照憲
津本辰己　西野修平　村田隆男　森西順次

今期定例会において、当委員会に付託された議案二十件、継続審査中の請願一件について審査した。議案二十件は全て全員一致で原案可決、請願は継続審査と決した。

議案第百五号では、橋梁維持費の中で橋梁点検シートの作成について、都市計画総務費の土地賃借料についての質疑があり、住宅管理費では、老朽化した市営住宅の建替えにあたっては、子どもを生み育てやすい環境づくりなど、公共施設や市営住宅のあり方や配置なども考慮してほしいとの要望が出された。都市再生整備事業費では、ふるさと雇用再生特別交付金事業として平成二十一年度から三年間取組む事業の説明があった。「まちのコンシェルジュ業務委託」は、城東・城西地区などの市街地エリアで様々な情報やサービスを提供し、外部へ情報発信をするなど、津山の総合的な案内業務を行うものであり、「津山チャレンジ支援業務委託」は、市外で多方面に活躍している津山市出身の若者を、津山市民が応援団となって支援するもので、ふるさと津山の情報をメールマガジンなどで発信し、結びつきを深め、将来的に津山のまちづくりに繋げていく事業である。市民へ分かりやすく広報をするよう要望が出された。



総社川崎線（林田川崎工区）開通式

議案第百二十四号の中で、新年度上水道事業の概要について説明があり、二十一年度は、総配水量前年度対比一．六パーセント減、給水収益約二千万円の減と予測しており、給水戸数四万一千百戸を目標として、営業努力をしていきたいとのことであった。将来に向けて、給水人口も伸び悩み、給水量も節水意識の高まりなどにより、減少していくものと予測され、企業の業績不振など不安要素もある中で、財政基盤の強化、経費削減などに一層の努力を行う必要があるとの説明に、更なる経営努力により料金の安定に努めるよう要望が出された。

報告事項として、津山市長期未着手都市計画道路の見直しについて、グリーンヒルズ津山の状況について、津山市水道ビジョンの策定状況と概要の報告を受けた。

総社川崎線（林田川崎工区）林田付近

◎ 前ページまでの下の余白の標語について、このような行為を行い、処罰されますと公民権停止の対象となります。